

「進化する3Dプリンタビジネス」講演会

公益財団法人ふくい産業支援センターとふくいオープンイノベーション推進機構は、近畿経済産業局との連携により、「進化する3Dプリンタビジネス」講演会を開催しますので、ご案内申し上げます。

福井県では県内ものづくり企業に対して、製品の開発期間の短縮やコスト削減などに3Dプリンタを活用する取り組みを他県に先駆けて支援しております。また、県内企業の医療機器・ロボット・航空機部品などの新規分野への転用による売り上げ拡大を目指しています。

今回の講演会では3Dプリンタを活用した新分野での製品化事例を紹介するとともに、近畿経済産業局と連携し、3Dプリンタの現状や課題、また国のプロジェクトについて紹介いたします。皆様のご参加をお願い申し上げます。

◇日 時◇ 令和2年2月6日（木）13：10～15：25

◇場 所◇ 福井県工業技術センター（福井市川合鷲塚町61-10）

◇主 催◇ 公益財団法人 ふくい産業支援センター
ふくいオープンイノベーション推進機構（FOIP）

◇協 力◇ 経済産業省 近畿経済産業局

● プログラム ●

13:10 開会あいさつ

公益財団法人 ふくい産業支援センター 常務理事

強力 真一

第一部 3Dプリンタによる製品化事例

13:15 「日本における金属積層造形市場の現状と課題」

日本積層造形株式会社 代表取締役社長

保田 憲孝 氏

金属積層技術を利用した実用化事例を中心に紹介いたします。また、金属積層技術の一般概要として方式や仕組みや世界・日本の市場動向と将来展望、そしてサプライサイド・ユーザーサイドの現状についても経験に基づいて説明いたします。

14:15 （休憩）

第二部 Kansai-3D実用化プロジェクト

14:25 「Kansai-3D実用化プロジェクト～3D積層造形による実用化&

2025年大阪・関西万博に繋がる未来の技術開発に挑戦～」

経済産業省 近畿経済産業局 次世代産業・情報政策課 総括係長 谷川 淑子 氏

グローバルで加速化する3D積層造形による量産化に対応するため、2019年3月に経済産業省近畿経済産業局が、3Dプリンタの普及を目指す民間団体「3Dものづくり普及促進会」との連携により「Kansai-3D実用化プロジェクト」を発足致しました。

本プロジェクトでは、同会を母体に産官学の広域ネットワークを構築し、3D積層造形で実用化に挑戦する全国の約300社を超えるユーザーを支援対象企業として、装置導入、実用化開発支援を展開、様々な分野での「新たなモノづくりの変革モデル」を創出し、2025年国際博覧会に繋がる未来の技術開発に挑戦しています。今回は、海外での3D積層造形による実用化の最新動向や本プロジェクトの取り組みをご紹介します。

15:00 「金属3Dプリンタ造形で必要な後工程」

3Dものづくり普及促進会 事務局員

株式会社 立花エレテック 産業メカトロニクス二部

澤越 俊幸 氏

樹脂も金属も3Dプリンティングは、造形後に各種後工程が必要です。展示会では完成品ばかりが展示され、3Dプリンタから完成品が出力されるように思われる事が多く、意外に後工程やその手間については知られていません。これらは3Dプリンタ活用企業のノウハウに繋がるところになりますのでご紹介させていただきます。

15:25 （終了）

<問い合わせ先>

〒910-0102 福井市川合鷺塚町 61-10
公益財団法人ふくい産業支援センター
オープンイノベーション推進部 田中、近藤
TEL 0776-55-1555 FAX 0776-55-1878
E-mail t.tanaka@fisc.jp

※その他 定員となる場合がございますので、お早めにお申し込みください。環境への配慮から、来場の際はましては、出来る限り公共交通機関をご利用ください。また、車のご利用の際はましては、アイドリングストップにご協力ください。

※本事業は福井県からの委託事業により実施しています。

「新分野展開による研究成果の製品化支援事業」（福井県地域活性化雇用創造プロジェクト）

「進化する3Dプリンタビジネス」講演会 参加申込票
(申し込み締め切り 2020. 1. 30)

送付先：公益財団法人ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部
担当 田中、近藤行き(FAX：0776-55-1878)

貴社名 _____

住 所 _____

TEL _____ FAX _____

ご来場者名	ご所属・役職	e-mail